
4 5 2 5. ロケーション情報登録

業務コード	業務名
LOA	ロケーション情報登録呼出し
LOA01	ロケーション情報登録

1. 業務概要

ロケーション情報、事故情報、特殊貨物情報等を登録する。

「貨物確認情報登録（PKG）」業務、「搬入確認登録（システム対象内保税運送）（BIN01）」業務または「搬入確認登録（システム対象外保税運送）（OIN）」業務等により登録されたロケーション情報の変更及び取消し及び民間事故の変更を行うことも可能である。

また、既に搬出済の貨物については当該ロケーション情報等の照会を行うことが可能である。

（1）「ロケーション情報登録呼出し（LOA）」業務の場合

入力されたAWB番号に対するロケーション情報等を呼び出す。

（2）「ロケーション情報登録（LOA01）」業務の場合

ロケーション情報、特殊貨物情報、事故情報、生鮮食料品識別記号、無料期間の適用の旨及び従価保管料率適用の旨の登録等を行う。

2. 入力者

保税蔵置場

3. 制限事項

- ① 1業務で入力可能なAWB件数は最大9件とする。
- ② 1業務で呼出し可能なロケーション情報等は最大90件とする。

4. 入力条件

（1）LOA業務の場合

（A）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（B）入力項目チェック

（a）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（b）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（C）輸入貨物情報DBチェック

- ① 入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ② ULDでないこと。
- ③ 仮陸揚貨物または機移し貨物でないこと。
- ④ 「貨物取扱登録（改装・仕分）（CHS01）」業務により仕分けられた仕分け親でないこと。ただし、スプリット情報仕分けによる仕分け親は除く。
- ⑤ CHS01業務により仕分けられた仕分け子である場合は、「貨物取扱確認登録（改装・仕分）（CFS01）」業務が行われていること。
- ⑥ MAWBの場合は、登録されている全ての到着便に対して「混載貨物確認情報登録（HPK）」業務、「混載貨物確認情報訂正（CHP）」業務または「ULD引取情報登録（UDA01）」業務が実施されていないこと。
- ⑦ 「許可・承認等情報登録（輸入）（PCH）」業務により以下の登録が行われていないこと。
 - 「亡失届受理」
 - 「税関内収容」
 - 「現場収容」
 - 「貨物手作業移行」

(2) L O A 0 1 業務の場合

(A) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 輸入貨物情報DBチェック

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ②ULDでないこと。
- ③仮陸揚貨物または機移し貨物でないこと。
- ④CHS 0 1 業務により仕分けられた仕分け親でないこと。ただし、スプリット情報仕分けによる仕分け親は除く。
- ⑤CHS 0 1 業務により仕分けられた仕分け子である場合は、CFS 0 1 業務が行われていること。
- ⑥MAWBの場合は、入力された到着便名に対してHPK業務、CHP業務またはUDA 0 1 業務が実施されていないこと。ただし、対象外表示に「X」が入力された場合は除く。
- ⑦PCH業務により以下の登録が行われていないこと。
 - 「亡失届受理」
 - 「税関内収容」
 - 「現場収容」
 - 「貨物手作業移行」
- ⑧入力された到着便名が登録されていること。
- ⑨入力された到着便名に対する到着便情報が運送中でないこと。ただし、対象外表示に「X」が入力された場合は除く。
- ⑩入力された到着便名に対する到着便情報が入力者の管理する保税蔵置場に蔵置されていない場合は、登録及び変更されていないこと。ただし、対象外表示に「X」が入力された場合は除く。
- ⑪生鮮食料品識別記号に入力がされた場合は、O I N業務により搬入された貨物でないこと。
- ⑫生鮮食料品識別コードが登録されている場合で、生鮮食料品識別記号に入力がされた場合は、既に登録済みの生鮮食料品識別コードと同一であること。または「* *」（変更しない旨）が入力されていること。
- ⑬SPCコードが登録されている場合で、特殊貨物記号に入力がされた場合は、既に登録済みのSPCコードと同一であること。または「* * *」（変更しない旨）が入力されていること。
- ⑭PCH業務により事故確認が行われていない税関届出が必要な事故情報が登録されている場合で、事故情報に入力がされた場合は、既に登録済みの事故コードと同一であること。

5. 処理内容

(1) L O A 業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0 0 0 0 0 - 0 0 0 0 0 - 0 0 0 0 0」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「0 0 0 0 0 0 - 0 0 0 0 0 - 0 0 0 0 0」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) LOA01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 輸入貨物情報DB処理

①特殊貨物記号、事故情報及びロケーション等の入力された場合は、その旨を登録する。

②生鮮食料品識別記号が入力された場合は、その旨を登録する。

③無料期間適用及び従価保管料率の適用の旨が入力された場合は、その旨を登録する。

④ロケーションの先頭2桁に「SP」が入力された場合で、システムにSP貨物取扱可能な保税蔵置場として登録されている場合は、SP貨物の旨を登録する。SP貨物登録解除の場合は、ロケーションの先頭2桁の「SP」をSP以外に上書きする。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) LOA業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
ロケーション情報登録 呼出し結果情報	なし	入力者

(2) LOA01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
搬入状況通知情報 (輸入)	税関届出用事故コードまたは民間事故コードが 入力された場合	入力者
	税関届出用事故コードが入力された場合	保税蔵置場の管轄税関 (保税担当部門)
保税関係確認情報	税関届出用特殊貨物記号が入力された場合	保税蔵置場の管轄税関 (保税担当部門)